公益社団法人埼玉県理学療法士会

平成30年度第3回理事会議事録

**1．開催日時**：平成30年9月18日（火）19：00～22:30

**2．会　　場**：埼玉県理学療法士会　上尾事務室

**3．理事現在数及び定足数**

理事現在数　15名　定足数　8名

**4．出席理事数**　15名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、細井俊希、水田宗達、渡邊雅恵、本宮光信、須藤京子、矢野秀典

田口孝行、原田慎一、阿久澤直樹、瀧上晃弘、杉浦恵介、高宮尚之、大沼貴広

欠席理事：

**5．監事現在数及び出席監事氏名**

監事現在数　2名

出席監事：清宮清美

欠席監事：前園徹

**6．出席部長・エリア長・委員長**

塚田陽一、柳田千絵

**7．出席部員**

　　小野田翔太、鈴木智寛（書記）

**8．議長の氏名**

　　南本浩之

**9．議　　題**

＜計画内審議＞

○なし

＜計画外審議＞

○なし

＜報告事項＞

〇サイボウズ審議

＜その他事項＞

○研修会の中止の判断時期【提案事項】

○事務員永年勤続表彰【提案事項】

○理事育成事業の派遣者について【提案事項】

○2019年重点課題について

〇45周年事業について

〇表彰制度について【提案】

〇計画外審議について

〇サイボウズのサービス終了後の他サービス利用について

**10．理事会の議事の経過の要領及びその結果**

　（1）定足数の確認等

冒頭で議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

　（2）議案の審議状況及び議決結果等

＜計画内審議事項＞

○なし

＜計画外審議事項＞

○なし

＜報告事項＞

○サイボウズ審議について

　資料に基づいて南本会長より報告があった。

＜その他事項＞

○研修会の中止の判断時期【提案事項】

細井：災害等で研修会中止の場合の流れについて、HPに乗せる。しかし、誰に許可をもらい中止にするか。埼玉県主催の研修会の中止基準を設ける。中止基準は開催前日17時までに中止を決定し、研修会の主催者が各ブロック長、局長と中止を判断しHPに乗せる。HPの更新にはID・PWが必要であるが、ID・PWの漏洩防止の為、ID・PWを所持している各局長またはブロック理事にてHPの更新を行う。基本文例、「(開催日)に開催予定であった「（研修会名）」は(〇〇のため)中止にすることとなりました。」という文面を最低限記載してほしい。研修会案内の掲載についても同様に、「研修会を中止する場合は研修会開催日の前日19時までにHPを通じてご連絡します。HPに記載のない場合は予定通り開催します。前日・当日の電話やホームページからのお問い合わせには対応できませんので了承ください。」との記載を行ってほしい。

南本：台風、雪、災害により、研修会の中止や連絡が出来ない事があるため、中止の基準などは原則的に決めておいた方が良い。案内文に入れると入れないでは大きな違いがあると思います。

高宮：埼玉県南部ブロックの会議では台風と降雪で2回中止もしくは延期を検討することとなった。中止のタイミングは警報注意報を基に当日8時までにHPに乗せるようメールで連絡し、実際にHPに乗せて対応した。降雪に関しては、予報では当日昼には雪は止むので、晴れるとの事であったため、朝方雪のとけ具合を確認し当日開催しました。中止の基準が欲しい、タイミングは臨機応変に。

渡邊：南部ブロックと同時に県士会の会議があった。南部ブロックは浦和とかであったため交通機関が乱れなかったが、東松山、川越の方は路線の関係上交通機関にみだれがあり、中止にした。基準は場所によって違うので設けるのは難しいのではないか。

細井：主催者判断で最終的に局長が決定しHPに載せるのはどうか。基準は場所などに違いがあるから難しいのでは。判断の時期は決めておいたほうがいい。

高宮：各主催者の判断では？

細井：いいでしょう。

渡邊：HPのどの辺に載るのですか。

田口：画面の一番上に中止を乗せていく。緊急の連絡という枠で載せる。会員へのお知らせのところであると見づらい。色味などつけた方がいい。

須藤：普段ないが、中止の時だけHPに掲載できるようにする

田口：何年か前に作っているとの事、投稿できる仕組みは出来ている。あとは使うだけ。局長にID,パスワードを渡します。誰が投稿しているかわかればよい。

阿久澤：2点あります。報告はPOSの各判断を仰いでからでよいか、研修会を延期にすると次年度持ち越しになり予算失効の影響に関しての対応が必要。

南本：事業予算は次年度持ち越し可能のやり方があるからそれを利用すればよい。

本宮：前回はその方法で問題ない。

須藤：事業がたくさんあるので一度キャンセルすると次に集客できるか難しい。また台風により中止になった際、返戻金を返すなど必要がある。前回はHP見ないで来てしまう人もいた。前日のこの時間に周知されるかが心配。主催者側がいないと研修会場にいた方が失礼がないと思う。

南本：実際中止になったのは？

岡持：西部ブロックの研修会は積雪で中止になった。申し込みの時点でメールアドレスをいただき連絡する事と、当日に誤って来場した参加者の為に一定時間は主催者側が会場で対応し、その後は研修会中止の旨を案内した張り紙で対応した。

渡邊：今回から研修会案内に中止の際の案内を記載して対応する。

高宮：今後開催される研修会には中止の際の案内を記載した方が良いか

渡邊：公文書上に乗せた方が良いか

岡持：公文書と通知メールに載せた方がいい

阿久澤：公文書と通知メールの方が丁寧。埼玉県3士会での周知をお願いします。

渡邊：訪問リハビリの場合，研修会費をとり、県士会は無料ですが、災害などで延長になった場合，振替日に不参加の場合はキャンセル料が返金できないがどうすればよいか。

南本：研修会側の中止・災害などの中止は返金、個人私用での不参加は返金せず。

清宮：次回の研修会に参加できる人はその際に返金し、参加できない人は別の方法をとる必要がある。

南本：次回の公文書、通知メールに中止の案内を記載する。主催者・局長が中止判断し局長がHPに中止の文面を記載する。3団体には10月の会議で周知していく。

田口：部がたくさんあって局長がすべてやるのは難しい。部長もID.PWを持っているので局長だけでなく部長も記載してもいいですか。

南本：IDパスワードが拡散されなければよい。

以上の協議の結果、①研修会中止時の案内文の記載を公文書・研修会案内・通知メールに記載する、②中止の判断は主催者または局長判断とする、③中止時にはHPに中止の旨を記載する。記載は局長またはブロック理事が行う，ことが決定された。

○事務員永年勤続表彰【提案事項】

南本：商品券を渡す話になったが税理士に確認したところ、所得税はかからないとの事。表彰状と商品券はいつ渡すか。1つは学会で渡す、本人たち(平井さん、中島さん)は人前に出るのは嫌との事だが、出来れば懇親会などで表彰される方が良い。本人たちも夜でも大丈夫との事である。懇親会に会員をたくさん呼ぶ予定。みんなで声掛けして学会後の懇親会を盛り上げる。表彰状も作成し渡す。庶務部が作成する。

塚田：はい。

以上の協議の結果，第27会埼玉県理学療法学会の懇親会にて表彰を行うこととなり，表彰状の作成は庶務部が担当することとなった。

○理事育成事業の派遣者について【提案事項】

南本：趣旨として若手として県士会の活動を担ってもらうひとを育成するためのもの。去年から始まった。去年は塚田さん、茄子川さんに参加してもらった。今年はだれにするかを決めたい。自薦、他薦で。

塚田：参加した感想は理事の方が多いが、いろんな人と会話する機会がありいい経験になった。

阿久澤：参加してみたいが予定が合わないので難しい。

岡持：未来の理事候補を部長クラスから推薦した方が良いか。

阿久澤：医療保険部の高野さん。

須藤：健康増進部の菅野さんも推薦したいが忙しい。

瀧上：何年か部長経験していた方がよいか。

水田：地域包括ケアシステムを把握している人でないと難しい。

阿久澤：高野さんはスケジュールが合わない。

南本：去年出た人は塚田部長、茄子川部長

清宮：今年は一人ですか。

南本：協会からは1人だけとの連絡が。

塚田：前回の時は各士会が費用負担してでも複数名参加できないかという要望があったようだが、会場の関係で予定通り2名しか推薦できなかった。

南本：ブロックからどうでしょう。

原田：地域包括ケアに精通してないから参加しても理解できるか不安。

阿久澤：倉林さんにも予定を聞いてみます。

南本：この中のメンバーで決めましょう。

瀧上：行きます。

南本：瀧上さんで決定します。懇親会費は一部協会が負担してくれる為，残りを県士会負担で賄いま

しょう。参加の報告書は提出をお願い致します。

以上の協議の結果，理事育成事業の派遣者について，東部ブロック理事の瀧上氏に決定した。

○2019年重点課題について

南本：時間があればグループディスカッションしたかったのですが、別日に時間設けます。流れだけ説明します。意見徴収を紙にして検討する必要がある。元三役、相談役からの意見徴収の期間を設けていない。埼玉県の代議員から話を聞く等。

予算決算の乖離も問題になっているため改善していく必要がある。

会員から意見を抽出してその意見を10年後の理学療法を考える会で検討し、その意見を専門委員会や運営基盤検討委員会に挙げて中長期計画を作成していく。ブロックで実施する交流会の中での意見等を紙に起こしてほしい。これらの意見を反映させ中ればならないので8月までに意見徴収が終わっていないといけない。これからの意見徴収は再来年度の運営のための意見として徴収する。

田口：会員からの意見徴収のみで企画するのは理事ばかりのため、会員含めた企画・会議など参加すればより県士会が身近に感じるようになるのではないか。意見を集約だけでなく解決策も一緒に考えてもらうのはどうか理事のメンバーは補助で主体が会員となるようにするのはどうか。

清宮：公益社団法人としての場である事を忘れずに。県民に対して利益を反映する事が第一でそこに個人での技術が必要である事を。

時間の都合上，詳細は後日協議をすることとなった。

〇45周年事業について

水田：決定したいこと、進捗状況を報告します。9/10に会場確認、担当者と内容確認。塚田さんと運営マニュアル作成。役割分担を本日決めます。運営スタッフの集合時間は今後確定し報告します。役割分担として受付に1名、大ホール前のホワイエで受付する。受付方法は、学生・指導者・男女等が分かるような方法であればよい。受付時に記念のボールペンを渡す。運営・誘導については、講師の接待と運営、屋内外の誘導に責任者1名つけてほしい。導線は記入したがわかり辛いので責任者は9時に会場集合し確認。大ホールも責任者1名。物品リスト、会場図など載せている。今回は責任者と原田さんに依頼している啓発活動をどうするか。会場前のホワイエを使用し何かやるか、屋外で行うか。屋外では企画書を提出しないと許可が下りないので何をやるか決めたい。案としてはスポーツコンディショニング相談のスペース、体力測定のスペース等が良いのでは。しかし人数が欲しいので他部署にも協力してほしい。

渡邊：コンディショニングではスポリハ部くらい。

須藤：今のところ遠藤さん以外のメンバーで事業計画はないから呼べば来てくれるか。

渡邊：コンディショニングなどもマット等使えばできる

水田：それならホワイエを使用するが屋外で使用し周囲の目線を集めるのはよいか

細井：たくさん案をあげてひとつひとつ検討したい

田口：体力測定は小児の場合難しい、高齢者向けではどうか。啓発はだれに向けてなのか。

　　　小児で測定する場合、相談会の時間を設けるか、講演会との時間をわけないといけない

　　　そとの買い物客などをターゲットにするのもよいのでは。対象者を決めるのが難しい。

細井：理学療法フェスタでやっているような事をやったらよいのでは。人通りの多いスペースを用いて実施するのはどうか。一般の人と、会場に来てくれた人の2つに実施するのはどうか。

原田：ポスターはサイズ感を統一する。参加者にボールペン以外にもウェットティッシュなどを通行人に配布し会場に誘導できれば。

阿久澤：お子さんの親に対してスポーツ外傷に対する一次処置を実演するのはどうか。またラダートレーニングを用いてスポーツから高齢者に指導できるからどうか。

須藤：スポーツ外傷の処置などはスポリハの人はそれができるから協力してもらう。

南本：講演に来た人は会場に入ってもらう。通行人に対する啓発はイベント可能エリアで理学療法について説明し、講演にも参加してもらう。スポーツ外傷の体験などはスポリハ部の人の参加状況による。体力測定の場合は運動能力高い人に体験してもらう。

矢野：ホワイエに来る人は聞きに来る人が多いから実際体験してもらう時間は少ない。

　　　買い物に来る人はホワイエに来づらい、屋外イベントのみの参加になりそう。

水田：時間の融通は効く

岡持：開始時に参加体験の時間を連絡する必要がある。研修会と体験できる所は2つ同時にやるイメージ。

瀧上：小児に対する導入のために、聴診など体験し興味を持ってもらうのもよいか。

杉浦：時間がかかる出し物は人が来ないので簡単にできるものが良いのではないか。さくら的な感じでゆっくり出し物できるスペースもあってよいのではないか。

阿久澤：スタッフの問題からは外の規模を増やすのは難しい。小児は中途半端にやると拍子抜けするので、講演会でしっかりやった方が良いか

須藤：時間を気にする人が多く、実際伝えた以上に時間がかかってしまうので時間を守る事と、実施した場合、効果判定を説明する必要があるのではないか

南本：来場した人にやる事柄、外のイベント可能エリアで通行人に対してやる事、どんな事ができるかを確認する必要がある。

渡邊：講演の時間はどうなのか

水田：外会場は9時前から使用可能

南本：実際人が来るのは10時以降

田口：13時半までに呼び込みのため、外イベントをやるのは可能なのか

渡邊：10時～13時半は長いのでは？

南本：外イベントの時間は13時半前までにイベントと啓発活動をする。配布用のビラを追加で印刷する必要がある。

塚田：在庫は50部程度しかない

田口：時間を分けてもよいのでは。理想は10時から通しでやっている方が良い。ぬいぐるみなどもあれば集客できそう。

岡持：ぬいぐるみは確認した方が良い。

細井：10時～13時でどうか。受付の時間が13時半からなので少し早く終わらせる。

岡持：ぬいぐるみはコバトンとさいたまっちがある。

水田：パネルは外に置いた方がいい。車いす展示等はどうか。

原田：車いす競争などは啓発活動とは関係ない気がする。

大沼：風船トランポリンは子供が多く集まるのでビラ配りしやすい。

田口：雨の場合はテントのみ張るのか。

細井：オープンキャンパスでは車いす介助方法や杖・車椅子などを紹介し、展示できるものも多い。

　　 大学にスポーツ研究部もあるので確認して人数確保できるかもしれない。

水田：ぬいぐるみを借り、車いす展示等であれば外会場は可能ではないか。

渡邊：河合先生にお願いすればよいのではないか。

水田：車いすなどは業者などを呼べばやってくれるのではないか。

原田：確認してみます。

田口：子供たちのインソールなども良さそう。

水田：借りるなどの連絡は原田さんにお願いします。テントは5梁からしか借りられない。

渡邊：値段は？

水田：1梁いくらかを確認する必要がある。

塚田：最低5梁からしか借りられない。

渡邊：設置料込みで1日3万円との記載がある。

原田：机は搬入する必要がある。

渡邊：テーマを一つ決めないと難しい。

南本：スポーツにかかわることが多く上がっていたが、車いす乗車体験の意見が多かった。

渡邊：車いすの場合大人用を子供が漕ぐことは大変かもしれない。

南本：パネル掲示・ビラは実施予定とし、ぬいぐるみは水田さんに確認、展示と体験できるものはテーマを絞ってやるかそれともやらないか。やらないのも一つの意見。

阿久澤：啓発のターゲットはだれか　子供の場合は体験させる方がいい。

塚田：埼玉県内の小中高校の校長あてに案内を送っている。

岡持：案内は送っているが実際は来ていない。直接対話でないと来る手ごたえはない。

矢野：宣伝して理学療法に興味を持ってもらう方が良い。

細井：小学生とその家族に体験してもらうのはありでは。

南本：理学療法の啓発と45周年事業の啓発2つある。

　　45周年事業は外と別に考える。どちらかに絞る必要がある。

特別講演の講師である北澤氏のサインボールは5つ用意してあるがボールを増やすことは可能。

理学療法フェスタか集客イベントとして行うか決める。

田口：集客の場合はぬいぐるみ借りられる事と北澤氏の名前があれば可能ではないか。

　　　パネル掲示は理学療法士に対しての啓発となる。会場前に置いても可能である。

南本：理学療法についてはパネル掲示。

田口：車いすの乗車体験だけでは啓発ではないのでは。

水田：スポーツの1次対処にたいしてであれば理学療法士の啓発になる。

高宮：スポリハのスタッフが参加できるか不安。

塚田：人員は40数名程度を想定しており、会場内だけで30数名割いている。

原田：広報局は5名程度

塚田：啓発は合計10名程度。受付に10名いるので多ければ5名にして残りを啓発に回すことも可能。

南本：20名だとビラ配り、パネル掲示、ぬいぐるみでたくさんとなる。スポリハ部で体験スペースを担当する。原田さん、須藤さんに企画を依頼する。さらに協力可能な人がいれば声掛けする。

細井：埼玉医大のスポーツ研究会は声掛けします。

南本：中イベントは外イベントの後でやるか。例えば小学生などのオーバーユーズに対し家族に講演するとか。スポリハ部に確認してもらう。

須藤：スポリハ部に確認し連絡します。

塚田：旅費と日当は事前準備し、当日渡したいので協力をよろしくお願い致します。

水田；当日責任者受付：高宮さん　誘導案内：矢野さん　大ホール運営：田口さん　司会：渡辺さん

須藤：外の責任者も必要だと考える。外責任者：須藤さん、原田さん

塚田：マニュアル作成はしているが、責任者の管理でマニュアルを変更してもよい。文書で送りま

す。

水田：ボールペン1000本あるが会場が1700程度入る。ボールペンを買い足してもよいか。

　　 1000本で28万円。ウェットティッシュは外に配る、ボールペンは中の人にくばる。

田口：どの程度追加するか。理学療法45周年記念という事であればほかのイベントで使用できるのではないか。

　　水田：ペンには45周年記念と書かれているからほかの研修会などでも使用できる。

　　南本：1000本追加して他に使用する。

以上の協議を行なった。

〇表彰制度について【提案】

　　南本：事業の評価の際にネガティブになるのでポジティブな部分を表彰する事もよいのではないか。

　　　　　投稿論文も表彰してもよいのではないか。県士会の表彰制度は作成されている。

　　清宮：県士会の表彰はまだ提案段階で承認はされていなかったはず。

　　南本：どこかの施設長を表彰などすることで会員を集められるのではないか

　　　　　承認を受けていない場合、サイボウズにて審議し、来年の総会で表彰したい。

　　　　　全国で表彰していない会員以外をターゲットに。全国表彰は埼玉県立大学の原氏が実施して

いるので庶務部に県士会表彰を設置する。これを理事会で承認し、総会後の懇親会で表彰すれ

ばよいのでは。

以上の協議を行なった。

〇計画外審議について

高宮：決算予算の割合について計画外審議について。ブロックでの事業では小さい研修が多数あるため、予定予算10％を超える事が多いため運用方法をどのようにしたらよいか。計画外審議を手続き上、出さなければいけないのか。

南本：一つの案として割合10％は変更せずとも、金額のふり幅で決めるのはどうか。

高宮：実際手続き上、計画外審議を出さなければいけないのか、報告ではだめなのか

南本：予算決算が著しく違うのは計画外審議が必要である。

清宮：終わった後では審議ではなく報告になるのでは。

本宮：補正予算を使用する際は計画外審議が必要なのはわかるが、変動した事に対して計画外審議で

行う必要があるか。変動した内容はコメントを残している。

南本：予算1割超えたら計画外審議としてあげるのが従来。

高宮：予算が余ったことに対し、何を審議すればよいか。

南本：お金が足りない場合は計画外審議が必要。

渡邊：ブロックでは小さい事業が多いため年間の研修会などの変動を見込んで計画外審議している。

清宮：研修会を一つのくくりでみて相殺などしている。基本は計画通りに実施するができない場合に

相殺という手段。一度財務に話を預けた方が良い。

高宮：今回赤字が出ていたので、補正予算の計画外審議は作成しているが、手続き方法に悩んでいる。

南本：予算・決算の相違が少ない計画が必要、また端数はどこまで予算案に入れるか。

　　　　 予算案などは本宮さんと税理士と相談して決定する。

　　　　 予算超えそうな場合は以前同様、計画外審議を行う。

阿久澤：ブラッシュアップ研修は3回で予算をもらってその中でやりくりしている。

　　　　 審議での予算も3分割して出している

南本：審議にかける時は予算3分割した分の合計と決算に相違がないとしているのだよね。

阿久澤：そうです。

渡邊：そのやり方を事業局でも許可いただければ良い。

　　　 予算挙げる時は千円単位で挙げても良いのかを決定出来れば、決算予算での差が少なくなる。

　　　 局ごとに円単位がバラバラなのはよくない

南本：事業計画自体各研修会(同じもの)を2回やるから2回分の予算を申請する方が楽という事か。

清宮：多めに予算要求という事は難しいから、計画の時点でどの程度県外講師を呼ぶかなど検討した状態で予算を組んでほしい。それでキャンセルが出て予算が余ったら、他の研修会などを実施すれば良い。

渡邊：そのやり方が相殺ではないか。

南本：相殺は赤字を補填するために他の事業から資金を持ってくること。

高宮：一事業、一予算でやってはいるが、10％を超える事が多い、金額ベースで考えていただければ。

南本：本宮さんと予算決算について相談が必要ですね。計画での自由度はありつつ、予算決算の乖離がないようにしていきたい。

清宮：予算申請時の端数はどうするか決定した方がいい。

高宮：予算超えそうなとき計画外審議を利用して、細かい事が決定するまでは保留という事で。

〇サイボウズのサービス終了後の他サービス利用について

高宮：サイボウズのサービスが終了した後どのサービスを使用するか。南部ブロックで使用する場合も契約してくれるか

水田：ほかのサービスがどこまで使えるか調べている段階。部員まで含めると金額が高いので

高宮：その方向性を決めていただけると、それがダメな際ブロックで何を用いるかなど検討する必要があるので。

岡持：サイボウズのサービスをライン程度で使うのか、どの程度使うのか。

高宮：ブロックでは現状サイボウズのサービスはすべて使用している。

岡持：アンケート機能が必要なければ他のサービスもある。

以上をもって議案の審議等を終了したので、22時30分、議長は閉会を宣し、解散した。

　　　この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長　　　　　　　　　　印

監事　　　　　　　　　　印

監事　　　　　　　　　　印